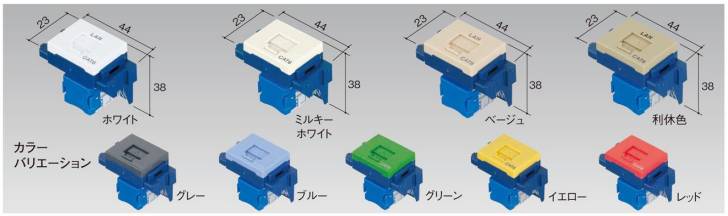
ぐっとす 情報モジュラジャック(埋込型) Cat.6 Cat.5E

当社スイッチ・コンセントと共通デザインを採用。高品質で、見た目にも美しい情報の取出口です。



各部の名称と機能

ひと目で確認できる
「LAN」マーク表示
●ホワイト・ベージュ・利休色の場合
ホコリや虫の侵入を防ぐ
自動復帰開閉シャッター
キャップ色で確認できる
青色はカテゴリー6対応
緑色はカテゴリー5E対応

結線図

T568A	T568B
白・緑	白・橙
緑	橙
白・橙	白・緑
橙	緑

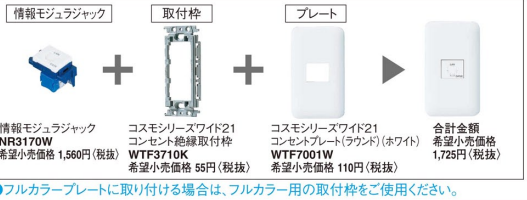
T568A	T568B
茶	茶
白・茶	白・茶
青	青
白・青	白・青

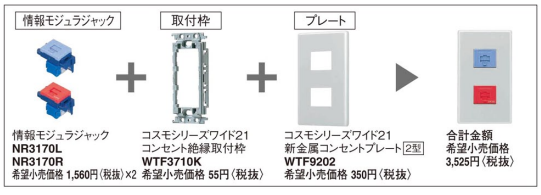
カテゴリーの規定		適合LAN
Cat.6 (カテゴリー6)	250MHzまでの伝送特性を規定	10BASE-T～1000BASE-T
Cat.5E (カテゴリー5E)	100MHzまでの伝送特性を規定、CAT5を上回る性能	10BASE-T～1000BASE-T

カテゴリー	在庫区分	品番	品名	希望小売価格(税抜)
Cat.6	Ⓜ	NR3170W	情報モジュラジャック(CAT6)(埋込型)(ホワイト)「LAN」表示付	1,560円
	Ⓜ	NR3170	情報モジュラジャック(CAT6)(埋込型)(ミルキーホワイト)	
	Ⓜ	NR3170F	情報モジュラジャック(CAT6)(埋込型)(ベージュ)「LAN」表示付	
	Ⓜ	NR3170G	情報モジュラジャック(CAT6)(埋込型)(利休色)「LAN」表示付	
	Ⓜ	NR3170H	情報モジュラジャック(CAT6)(埋込型)(グレー)	
	Ⓜ	NR3170L	情報モジュラジャック(CAT6)(埋込型)(ブルー)	
	Ⓜ	NR3170GL	情報モジュラジャック(CAT6)(埋込型)(グリーン)	
	Ⓜ	NR3170Y	情報モジュラジャック(CAT6)(埋込型)(イエロー)	
	Ⓜ	NR3170R	情報モジュラジャック(CAT6)(埋込型)(レッド)	
Cat.5E	Ⓜ	NR3160W	情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(ホワイト)「LAN」表示付	1,340円
	Ⓜ	NR3160	情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(ミルキーホワイト)	
	Ⓜ	NR3160F	情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(ベージュ)「LAN」表示付	
	Ⓜ	NR3160G	情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(利休色)「LAN」表示付	
	Ⓜ	NR3160H	情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(グレー)	
	Ⓜ	NR3160L	情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(ブルー)	
	Ⓜ	NR3160GL	情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(グリーン)	
	Ⓜ	NR3160Y	情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(イエロー)	
	Ⓜ	NR3160R	情報モジュラジャック(CAT5E)(埋込型)(レッド)	

注)8極8心以外のモジュラプラグを差し込まないでください。モジュラジャックのコンセントばねを変形させる恐れがあります。

組合せ例





●フルカラープレートに取り付ける場合は、フルカラー用の取付枠をご使用ください。

結線方法

❶キャップを本体からはずす

キャップの爪の先端を指ではさむようにして押しつまみ、引き上げながらはずす。

注)できるだけ爪の先端部をつまんで引き上げてください。

❷ケーブルの外被をむき、モジュラジャックに固定する

ケーブルの外被を50mm程度むき、外被の先端を「ケーブル固定部」にはめこむ。

注)ケーブルの外被をむく際は、内部の心線を傷つけないようにむいてください。

❸心線を溝に挿入する

心線をラベルの表示色に合わせて左右の溝に挿入する。

注)心線の撚りの中心を、溝の突起に押し当てて撚りを広げながら挿入する。撚りがきつい場合は、少し撚りを戻して挿入する。

❹心線を結線する

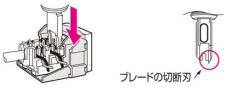
キャップの先端工具を使用する場合

①キャップの先端工具で心線を1本ずつ押し込む。
②心線が奥まで押し込まれていることを溝の左右から確認し余った線をニッパー等で切断する。

注)φ0.65の電線は、インパクトツールを使用して結線してください。

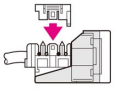
インパクトツールを使用する場合

ブレードの切断刃を外側にして、心線をしっかり押し込むと同時に余った線を切断する。



❺キャップを装着する

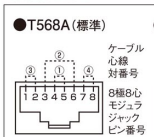
接続後はキャップを「カチッ」と音がするまで押し込んで装着してください。



注)キャップがモジュラジャックにしっかりと装着されていることを確認してください。装着が不十分な場合は、接続ができていない可能性があります。再度、キャップや工具等を使用して、十分に心線を押し込んでください。

結　線　ツイストペアケーブル

端子配列図

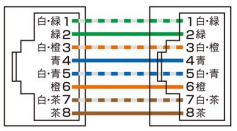


対番	色	ピン番号 T568A	ピン番号 T568B
①	白・青 (W・BL)	5	5
	青 (BL)	4	4
②	白・橙 (W・O)	3	1
	橙 (O)	6	2
③	白・緑 (W・G)	1	3
	緑 (G)	2	6
④	白・茶 (W・BR)	7	7
	茶 (BR)	8	8

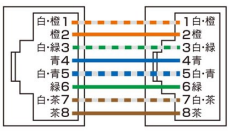
注1)情報モジュラジャックのピン番号と4対ケーブルの対番号との接続の配列は、LAN配線の規格(ANSI/TIA/EIA-568-B)にてT568A(標準)、T568B(オプション)の2通りの結線方法が定められています。
注2)両者は、1-2と3-6のピン番号に結線する心線の色が異なっていますが、ピンのペアの採り方は同じです。

ストレートケーブルの結線

(T568Aの場合)



(T568Bの場合)



注3)ストレート結線をする場合は、T568A、またはT568Bのどちらか一方に統一してください。
(一端をT568A、もう一端をT568Bにした場合、10BASE-T、100BASE-TXのクロスケーブルとなります。)
注4)結線方法を無視した場合、通信できないなどの不具合を発生する恐れがあります。